

新型コロナウイルス感染症と「ハラリ

サピエンス全史を書いたイスラエルの歴史学者ユバアル、ノア、ハラリ

氏にきいた NHK 緊急特集をまとめてみました。

1. 「新型コロナとハラリの世界」

新型コロナウイルスにより、一番の懸念はアフリカ、東南アジア、南米です。日本、アメリカ、ドイツは大丈夫だが、エクアドル、バングラデッシュ、は支援が無いと崩壊の可能性がある。

二つめの懸念はウイルスの突然変異です。一波が収まっても二波が企業来る。最初の波より強くなる事もある。

今回のパンデミックは世界を根底から変える壮大な社会的、経済的実験が行われるでしょう。私は大学で一部オンライン授業を検討してきましたが、今回はすべてのコースをオンラインに移行しました。

これはコロナが収束しても元に戻らないでしょう。大学は地元の高い授業料の教授を雇うより、1/10の費用でオンラインでインドの教授を雇うだろう。そんな危険性がある。

雇用市場で労働者の弱体化が進むかも知れない。インターネットで働くひとには組合も保護もありません。

(注)グラフは 2020 年 5 月 3 日現在の日本の感染状態です。



今政府はウイルス対応で莫大なお金を払っていますが、政治家は経済、教育、国際ルールを根本的に変えるチャンス을握っています。

パンデミックの後に訪れる危機、それは民主主義に訪れる危機でもあります。

ヨーロッパでは都市封鎖と外出制限で政府は自由の制限への協力を求めています。ハンガリーでは首相の権限が拡大され、議会の承認なしで、非常事態が無期限に延長出来るようになった。又感染防止の虚偽の情報を流すと最高 5 年の禁固刑がされる。

政府は新型コロナの機会に、これまでに無い権力を手に入れた。民主主義にとっては極めて危険である。いま感染への監視は必要だが、一部の人を援助するのではなく全ての国民を支援する為の監視が必要です。

2. 「**新型コロナと監視について**」

今ウイルスによる生命の恐怖と経済的不安がありますが、コロナ後の世界には心配があります。独裁国は迅速に行動出来、効率が良い、誰とも相談しないからです。間違いをしても認めず隠蔽する。メディアをコントロールして隠蔽する。

中国は感染拡大を封じ込める為、発生した日付を地図上に示すシステムを開発。移動情報のビッグデータを使って ID 番号を入力すると感染者と接触した可能性があるかどうか分かるアプリを開発した。

そのデータは国民一人一人の移動記録です。感染者と同じ車両に乗ったり、飛行機の席で近くに乘ったりすると濃厚接触者と判断され、保険当局への連絡を求められる。

地下鉄やタクシーに乗っても一部地域では QR コードを読み、個人情報の登録を求められる様になった。

この監視技術は中国以外韓国、台湾、シンガポールなどに広がろうとしている。

コロナウイルスは監視の歴史を変える分水嶺になり得ます。

①市民への監視システムに反対して来た民主国家でも今回のパンデミックから多くの国の、監視システムを導入する可能性があります。

そして非常事態が終わっても監視システムは継続されるだろう。導入は簡単だが、廃止は難しい。コロナ危機が去っても第二波が出現するからです。

②そして監視の質の変化が考えられる。これまでは政府や企業は主に人の行動や喋る言葉や文章、誰と接触するかなどを監視対象にしてきました。

つまり人の皮膚の外だったのが、今後は皮膚の下、体温、血圧など体の中に入り込もうとしている。ここに大変な危険がひそむ。

3. 「情報収集と組織」

イスラエルはテロとの戦いに活用していますが治安機関に監視技術の運用を容認していますが、それは憂慮すべきです。担っているのは治安機関だからです。

イスラエルはアラブ諸国やパレスチナとの戦いの中で世界有数のテロ対策技術を発達させて来た。

今回テロ対策の技術を感染防止に役立たせている。

このシステムでは感染者や疑われる携帯電話の番号が保険省から警察に送られる。警察はその人の位置情報を遡り、過去の行動履歴を割り出す。さらにその人の近くにいた人を割り出し、接触者として特定する。

保険省が必要と判断すれば、警察は接触者を收容、隔離する事が出来る。管理命令に反した人は逮捕する。

ハラリは主張する一病気や流行に関する国民の感情を集める権限を治安機関に託してはいけません。その役割は独立した疫学専門グループが担うべきです。

様々な国で疫学と情報収集に特化した新しい組織を作るべきです。但し収集した情報を警察に見せるべきではありません。独裁政治を作るために情報を使ってはいけません。健康の為にだけに情報を収集するのなら皆はもっと協力的になるだろう。

世界には政府を恐れる少数民族が多くあります。イスラエルにいるパレスチナ人もそうです。パンデミックと戦うには100%の国民の協力が必要です。50%や60%では駄目です。

「フディング令」とは1948年の独立戦争の緊急時に国民の好きなフディングの材料の規制をする法律を作った。これが廃止されたのは60何も経った2011年でした。

1948年に作られた規制の多くはまだ残っています。それは今後も続くでしょう。コロナ監視が受け入れられると危機が終わっても続くだろう。

国の指導者は危機が過ぎても緊急時に手に入れた権限を手放したがない。
緊急には必要だが民主的バランスが必要で、特定の個人に大きい権限を与えてはいけません。これまで育んできた民主主義社会をどうしたら保っていけるか、

監視は必要だが、政府だけでなく一般市民にも力を与えるべきである。私自身や他の人の状態に関するデータを政府が密かに保管することは許されません。

私自身の健康管理のデータにアクセスする権利は与えられるべきです。自分の健康により良い判断を下す為です。そうしたら国のデータの信用度も増します。

データは透明で監視は双方向であるべきです。市民も情報を吟味し、科学に基づいた情報を信頼すること。そして科学的な指針を実行すべきです。市民が科学的に行動すれば、政府は独裁的な手段をとる必要はなくなります。

4. 「世界の協力と連帯」

今回のパンデミックはグローバル化から起きたと言う人がいますが、それは違います。パンデミックはグローバル化が進む前から発生しています。中世には飛行機も大型クルーズ客船も無かったがペストが流行っています。

石器時代時代は無かったが、それ以後グループで生活する様になつてからは発生しています。我々はせつきあには戻れません。現実的な対応策は隔絶ではなく、協力と情報の共有です。

各国の医師が他国に協力する事はできる。どの国で広まっても人類の脅威と理解すべきです。中国や韓国が得た情報は今後効果的な方法を判断する上でヨーロッパや世界の参考になるだろう。

中国がロックダウンで失敗したのを公表しなければ、ヨーロッパも同じ過ちを犯すだろう。全世界の人々の情報共有が大切。WHOは情報を隠したとトランプ氏は言った。信頼するリーダーが居ない今どうやって助け合いをすべきか、今の最大の問題はリーダーシップのなさです。

2014年のエボラ出血熱、2008年の経済危機では世界的リーダーが機能した。アメリカがリーダーし、世界が従い最悪の事態を避けた。ここから4年で2つの、事が起きました。

1つはアメリカがリーダーから退き、アメリカファーストの自国主義になりました。第二は世界の空気が変わり敵意や分裂がエスカレートしている。それが現在の危機への対応を難しくしている。

協力無しに感染症を阻止する事は困難で、経済的崩壊を食い止めるのは難しいでしょう。アメリカは今もリーダーを引き受けるつもりはないようです。

集団でリーダーシップを作る事が求められています、リーダーシップ不在の中で企業や市民でできますか、空白の一部は情報を共有して企業や市民で埋められましょう。

しかし一方この方法もあります。他国を助けようとする国が現れるかもしれない。地球環境の問題と似ています。これは戦争ではない。兵士同士が銃撃で打ち合うのではありません。病院で働く看護師こそ英雄です。

重要なのは人のケアをする事です。ウイルスはやっつけないといけないが、**人同士が戦うのではありません。世界の人をケアし、ウイルスから守り、経済的苦境からも守る事が出来れば成功でしょう。**

自国だけ守って他国が崩壊しても成功とは言えません。トランプ氏がWHOへの拠出を停止すると言った後、ハラリーは100万ドル(1億1千万円)をWHOに寄付すると発言した。

それに対してなぜイスラエルに寄付しないかとの批判も出た。ハラリー氏は地元テルアビブの病気がコロナウイルスの遺伝情報を中国とドイツから受け取った。最良の治療法はイタリアやアメリカから教えてもらった。

もし世界から正しい情報を受け取れなければテルアビブの病院は無力になる。自力でワクチンを開発する事も不可能だ。

パンデミックの中で同胞を救おうとしたら国際的な協力を選ぶほかない。長いサピエンスの歴史からこの世界的パンデミックの意味はなんだろう？

このパンデミックは人類は乗り越えられるだろう。しかし**結末の後自国優先や孤立主義や独裁を選び科学を信じなければ歴史的な大惨事でしょう。**

多数が亡くない経済は危機になり、政治は大混乱となる。一方でグローバルな連帯や民主的で責任ある態度、科学を信じる道を選べば死者や苦しむ人が出ても人類にとっては悪くない時期と思えるだろう。

もし人類がウイルスだけでなく、内側に潜む悪魔を打ち破り、憎悪や幻想忘却を克服し、真実を信頼して強く団結した種になれた時代と位置付けられるはずです。ウイルスを防ぐには協力と連帯しかありません。

2020年5月3日 上田 ヤマト ✨ 090-5044-1335